

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO 60
ATSUSHI MIYAWAKI
c/o SAPPORO GRAND HOTEL, SAPPORO, JAPAN



No. 9

昭和二十九年三月十五日（第九信）

第六十地区ガバナー

宮 脇 富

第六十地区

会長及び幹事各位

拝 啓

(1) Vocational Service

R I B I 機関紙ロータリーサービスに、欧州各地区の大会記事が載っていました。その中に第二区の大会でバーシー、ホプキン君が職業奉仕について講演した要旨が載っております。参考のため抄録してみましよう。職業奉仕という成語は、ロータリーのいろいろな奉仕活動のうちで、個人に最も関係のあるものであつて、われわれロータリアンが目醒ている間に費す最も大きな時間は、実に職業のためである。ロータリーの理想が、会員個人々々の一生の仕事や、関心事と合致するものもそれである。自分の考えもしやは、各会員がロータリーの指導者から、その指導を受ける必要がある点は実にここにあると思う。ここにまたロータリアンとしての責任のあることも知られるであろう。職業奉仕はわれわれ個人々々の問題であり、われわれのすべての職業及び専門活動が触れるところのもので、ロータリー会員の何人と雖も、それが満足に行われることを希わずにはいられないであろう、というようなことでありました。ロータリーの職業奉仕委員会の御報告を見ますと、多くは職場における下積のもので、特に推奨すべき働きをしたものの、表彰というようなことが主になつておるようです。かようなことも大切ではありますが、ホプキンスが申しておりますように職業奉仕は、ロータリアン個人々々がその職場において、雇人との関係において、売り

手と買手手の関係において、同業者との関係において、また競争者との関係において、常に四つのテストの下に奉仕するというのがあります。職業奉仕委員会では、その目的が達せられるように活動していただくのが、本質であるように考えられます。

(2) Rotary is service Club

ロータリーは宗教か政党か、あるいは秘密結社ではないかというような、疑惑の目をもつて見る人がないわけではありません。これについてRIBIの副会長E・Hバーチャル君は、同じく第二地区年次大会において、ロータリーは宗教ではない。政党でもない。またロータリアンでない人には驚異であるかも知れないが、秘密結社ではない。ロータリー会員の中には、それらの会員である人も含まれているであろう、しかしロータリーはそれらのいずれにもかわるものではない。ロータリーは、会員の信仰を尊重するものであり、いずれの政党に属しようとかれこれいうものではない。また欲するならば如何なる秘密結社に入ることも自由である。ただロータリーは親睦によつて集り、ある共通のものを持つのである。即ち奉仕の理想であつて、その目的は、この奉仕の理想を奨励し、かつ養育するにある、というようなことを述べていました。ロータリーはどこまでも会員相互の親睦を増進し、これを基調に奉仕の機会を造るのであります。親睦を厚くするには、会員が例会は勿論、出来るだけロータリーの諸会合に出席することです。また機会ある毎に他のクラブに出席して広く知己を得ることに努めることであります。ロータリーは会員の信仰を妨げるものではありません。政党を嫌うものでもありません。秘密結社をかれこれ申すものでもありません。従つて如何なる宗教の信者であろうと、如何なる政党に属した人であろうとまた秘密結社の会員であろうと、立派な職業人であつて、品性高潔、親睦を守り、奉仕の志に燃えている人であつて職業分類にさえあてはまれば、ロータリーの会員となれるのであります。ただロータリーでは、他の奉仕クラブに属することを許さないのではありません。これはいささか偏見のように思われますが、決して他の奉仕クラブを排斥するわけではないのでありまして、寧ろ他の奉仕クラブを尊重するのであります。ロータリアンは、その信条である奉仕の理想に、その努力を集中するために、他の奉仕クラブに属することを許さないのに過ぎないのであります。奉仕の理想を達成するには、努力の分散を防がなくてはならないからであります。ロータリーは他の奉仕クラブと協力し、社会のため奉仕し、よい社会、平和な世界を造り上げることに反対するものではありません。

(3) Necessity of Rotary Information

第八地区大会においてR I B Iの前会長T・Hキャシユモア君が、警告的発表をしておりますことは、多少誇張の嫌がないわけではありませんけれども、ロータリーの先輩の方々には、はじめに考えていただかなければならぬ事柄であると思います。同君はロータリーの欠点は、ロータリアンに、ロータリーを譲り渡さなかつたことである。われわれは、単にわれわれの陣営を動員したに過ぎない。これは会員個人が責められる筋合のものではなく、ロータリーに関する情報の流し方と、ロータリークラブの不注意な結成、及び古いロータリアンに対する情報の欠如によるものである。自分は過去において、クラブ創立者がロータリーに入会したときに、なんのために入会したのかさえ知らないものあつたことを、信ぜざるを得ないのである。ロータリー運動は、ロータリアン個人を無視するならば、自滅するであろうし、単に一つの機械となるであろう。しかし多くのロータリアンは、自己の責任を避けるために、その機械化を欲するかにようにさえ思われる。というようなことをいつています。ロータリー情報の徹底はロータリークラブの成功であり、ロータリーの発展の基でもあります。各クラブにおいては、ロータリー情報委員会の御活動を切にお願い致します。

(4) Individual Service is Important

ロータリーが今日のように世界的に発展して参りましたのは、実に組織の力によるものといえましょう。B・Eプレムナー君は、同大会で次のようなことを申しております。現在あるような、立派な組織が必要であるのは、もともとロータリアン個人がその奉仕的努力を、ロータリーにおいてなしうるようにするためであることを、覚えておく必要がある。また奉仕なくして、ロータリークラブは、ロータリーを活かすことは出来ない。しかもロータリーの事業は、決して壮観なものであることを要しない。ロータリーの事業は、ロータリアン個人々々の、心と精神の中に存在すべきものである。自分は、すべての会員に対して、現在僅かに数人によつてなされている事業の、分担を慫慂せざるをえない、というようなことを申したのであります。ロータリーの真の活動は、会員一人一人の、自己を超越しての奉仕であります。そして、この自己を超越したところの奉仕は、最も多くの報酬に価いするものであります。

(5) Correction in Last monthly Letter

新たに出来ました上野ロータリークラブの事務所は、二月通信で、例会場を同所に書いておきましたが、このほど、同クラブから挨拶状が、皆さんのところへも参つたことと存じます。それによりますと事務所は、次のとおりでございますから御訂正願

います。

上野市茅町駅前

上野瓦斯株式会社内 電話一九八番

次に、最新に出来ました市川ロータリークラブについても、前便において御報告申し上げておきましたが、原稿を書いたときには、詳細の報告が参つておりませんでしたので、後でブランクを埋めるつもりでおりましたが、遂に印刷に間に合いませんでしたので、ブランクのまま印刷されまして、大変不体裁なことになりました、申訳ございません。次に改めて御報告申し上げます。

市川ロータリークラブ

創立日附 昭和二十九年二月四日

承認日附 昭和二十九年二月十六日

会員数 二一名

スポンサークラブ 千葉ロータリークラブ

会長 豊田秀禾

幹事 渋谷寿光

例会場 市川市市川町五丁目一〇六七

市川マネジメントクラブ

クラブ事務所 市川市荳野町六ノ二二八

日本パイプ製造株式会社

前通信で、四月十六日に行われるべき地区協議会における、社会奉仕に関するプレゼンテーションを、小樽ロータリークラブの坂牛直太郎君に、お願いするよう発表致しましたが、同日はお差支えがありますので、残念ながら他の方に代つていただくことになりました。いすれ決定しましたなら御報告申し上げます。なお、四月十七日昼食時の卓話は、牛島五十周年六十区記念委員長とありますが、牛島は、手島の誤りでありますから、訂正しておきます。その他にも、印刷上の誤り、例えば七頁最後の行に名誉会員を除けば、どなたでもあるわけですが、とありますが、名誉会員を除けばどなたでもよいわけですが、の誤りでありますように、いろいろと誤りもありましたが、宜しく御推読を願います。

(6) Rotary Foundation Fellow Formally Announced.

ロータリー奨学生は、いよいよ正式に決定し、六十区から推薦しました朝岡良平君は、アメリカで勉強することになりました、このたび決定しました奨学生は、三十カ国から一〇五人におよんでおります。これで、この制度が出来ましてから今までに、

奨学資金を給与されたものは、五十六カ国にわたり、五九八人の多きに達しました。これに支払った金額は、百五十万弗であります。邦貨に換算して見ますと、実に五億四千万円に相当致します。

(7) Rotary Extension and Charter Night

二月八日現在、世界ロータリーの状況は、クラブ数八〇一九会員数三八一、〇〇〇人となりました。ますます発展の一途を辿っておりますことは、御同慶の至りであります。わが国でも昨年七月以来、十クラブが誕生致しました。今後ますますふえるであります。大都市には、既に追加クラブが出来ております。東京には三クラブ、大阪及び名古屋には、それぞれ二クラブがあります。これから出来るものは、小都市か大都市の追加クラブということになります。そこで、新クラブが出来ますれば、そのチャーターナイトということになります。ところが、このチャーターナイトが、近來ますます華美になり、金のかかるものになる傾向があるという批判が生じてきております。チャーターナイトは、そのクラブにとつては一生一度の盛事でありますから、最も印象的に行うことが大切であります。これがだんだん華美を促す基となつたようであります。チャーターナイトは、無論印象的行事とすべきであります。が、印象的ということは、華美とは違います。チャーターナイトを最も印象的にするには、チャーターの伝達式を厳肅に行い、ロータリーの理解を深め、親睦による奉仕の機会を造るに、最も有効適切な行事をなすにあります。多額の経費を以てこの行事をなせば、ある意味においては印象的にもなります。しかしまた、反面世の批判的となる憂いもあります。そのため真のロータリー精神が薄らいで来ることも考えられます。かくては、チャーターナイトの意義を没する結果ともなるのであります。またかくては、今後小都市にロータリーの出来る可能性をも阻むことになりましょう。そこで、チャーターナイトは、できるだけ簡素に行つていただきたいものであります。伝達式の費用は、勿論クラブの負担においてなすべきであります。が、懇親的行事の費用は、一切参加者の登録料によつて賄うことになつております。六十区には、まだチャーターナイトの済まないクラブが沢山あります。しかし、チャーターナイトはなるべく早く行つて貰いたいものであります。チャーターナイトは、チャーターの伝達式が主体であります。本来から申しますと、国際ロータリーの承認があれば、国際ロータリー会長及び幹事の署名のあるチャーターを、地区ガバナーの手に送つて参ります。ガバナーは、推薦責任者としてこれに署名した上で、これをガバナーの手で、新加盟クラブに伝達するのであります。その際に行う行事が伝達式であり、その行事

を祝うのがチャーターナイトであります。これまでは、チャーターはこれを郵送しておりますが、これは、実は異例のことです。新クラブは結成後、速かにチャーター受領の用意をしていただいて、ガバナーの手元でチャーターが完成しましたならば何時でも挙式が出来るようになっていなければならないのであります。国際ロータリーに加盟承認されてから、数カ月たつて、しかもチャーターは既にクラブの手元に届いておるのに、その伝達式を改めて行うというようなことは、妙なものであります。ただ加盟承認を受けたロータリークラブが、数カ月間もチャーターを受取らないというようなことは、面白くないのでありますから、実は異例ではありますけれども、チャーターは伝達式を待たないで、早速郵送しておる次第であります。かような次第でございいますから、まだチャーター伝達式の済まないクラブにおかれましては、至急その計画をたてて、その祝賀会であるチャーターナイトは、なるべく質素に行つていただきますよう、特にお願ひ致します。

(8) Report for Official Directory

先般シカゴ事務局から次年度のオフィシャル・ディレクトリー作成の資料提出の要求がありましたので、その書類は、既に皆さんのクラブへ送つておきました。今日既に二、三のクラブから資料をいただいておりますが、大部分はこれからであろうと思います。新年度の会長及び幹事さんが決定次第なるべく早く書類をガバナーの東京宅宛、御郵送を願ひます、纏めてシカゴ事務局の方へ送ることに致します。この書類がシカゴ事務局に到着致しますと、次期のクラブ会長及び幹事さんのところへ、シカゴから直接袋入の書類が行くはすであります。この袋入書類はそのまま、四月十六、十七両日の横浜における地区協議会に、お忘れなく御持参願ひます。なお新会長及び幹事さんの職歴、及びロータリー歴を、四月一日までにガバナーの東京宅まで御送付願ひます。

(9) Revised Editions of Rotary Literature in Japanese Ready for Distribution

奉仕こそわがつとめの改訂版が出来上りました。御入用のクラブは柏原孫左衛門君のところへ御申込下さい。特に新入会員には、是非一冊宛お買い求め下さるよう、お奨め致します。またロータリー問答の改訂版も、目下印刷中でありますから、不日御分配出来ることと思ひます。予めお知らせ致しておきます。

(10) Attendance Report

毎度申し上げて申訳ございませんが、毎月の出席率報告のことではありますが、大部分のクラブでは、早速御報告をいただきまして誠に感謝致しております。しかるに二

二のクラブで、とかく報告が遅れがちでありまして、集計に非常に困つております。これは何かの余儀ない事情のためとは存じますが、一つのクラブでも遅れますと、全体が遅れた結果となりますので、何とか早く御報告願いたいものであります。先月は遂に一クラブだけのこして、印刷に附するの止むなきに至りましたことを、お詫び致します。

(11) Official Visit

この通信が皆様のお手元に達します頃には、ガバナーの公式訪問も、大体終る予定でございます。皆様の御協力によりまして、愉快に有意義に訪問の目的を達することを得ましたことを、深く感謝致します。残りますのは、新たに出来たクラブの御訪問であります。これはおつて日程を作成致しまして、御通知申上げますから宜敷くお願い致します。

(12) Forms for Various Reports.

最後にガバナーに対する諸種の報告につきましては、なるべく早くお願い致したいものであるという事は、たびたび申し上げてなんだか済まないような感じが致しますが、事務の処理上、いろいろ手違いを生ずることがありますので、特に御協力をお願い致す次第でございますから、悪しからず御了承願います。ついでには、出席率報告、会員入会報告、退会報告、職業分類変更報告等の用紙御入用のクラブにおかれましては、札幌のガバナー事務所に御申出下されば御送付致しますから、これまた御承知おき下さいませ。

公式訪問日程追加

五月 二日	網走ロータリークラブ	アッセンブリー
三日	同 右	例会
九日	桑名ロータリークラブ	アッセンブリー
十日	同 右	例会
十二日	名古屋西ロータリークラブ	アッセンブリー
十三日	同 右	例会
十四日	上野ロータリークラブ	アッセンブリー
十五日	同 右	例会
十七日	前橋ロータリークラブ	アッセンブリー
十八日	同 右	例会
二十日	熊谷ロータリークラブ	アッセンブリー
二十一日	同 右	例会
二六日	市川ロータリークラブ	アッセンブリー
二七日	同 右	例会

二月出席率

今月順位	クラブ名	例会日数	会員数	出席率	前月順位
1	木更津	四	二八	一〇〇・〇	1
2	千葉	四	三〇	一〇〇・〇	2
3	北見	四	二七	九八・二	22
4	沼津	四	四二	九七・六	3
5	宇治山田	四	二八	九七・三	5
6	小樽	四	三八	九六・八	14
7	釧路	四	六一	九六・七	7
8	網走	四	四一	九六・三	9
9	横須賀	四	二七	九六・二	12
10	大垣	四	二八	九五・九	6
11	半田	四	二八	九五・三	13
12	浜松	四	四一	九四・七	6
13	東京北	四	五五	九四・一	11
14	岡崎	四	三三	九三・九	23
15	塩釜	四	二八	九三・七	4
16	山形	四	三八	九三・六	17
17	豊橋	四	四二	九三・五	10
18	津	四	三四	九三・四	18
19	岐阜	四	四一	九三・三	19
20	足利	四	二九	九二・三	25
21	札幌	四	八四	九二・二	16
22	仙台	四	六四	九二・二	26
23	新潟	四	五五	九一・九	9
24	桑名	四	二七	九一・六	
25	名古屋	四	三一	九一・一	27
26	長岡	四	九九	九〇・六	28
27					

以上ベストテン

51	50	49	48	47	46	46		45	44	43	43	42	41	41	40	39	38	37	36	35	34		33	32	31	30	30	29	28	27
金	福	松	東	盛	宇	秋		水	室	柏	東	前	桐	旭	川	釜	静	郡	日	会	清		津	上	四	川	富	一	横	函
沢	島	阪	京	岡	都	田		戸	蘭	崎	京	橋	生	川	越	石	岡	山	立	津	水		島	野	日	崎	山	宮	浜	館
四	四	四	四	四	四	四		四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四		四	四	四	四	四	四	四	四
四八	四二	三三	五七	三〇	三二	四四		三四	三九	二四	二四〇	二六	二八	四〇	二九	二三	四五	二七	二五	三二	三五		二一	二四	三二	三四	四〇	二八	七七	五二
八〇・四	八一・四	八二・九	八三・三	八四・三	八四・六	八四・六		八五・二	八五・三	八五・四	八五・四	八五・五	八五・七	八五・七	八六・二	八七・〇	八七・二	八七・九	八八・〇	八八・四	八八・六		八九・三	八九・六	八九・九	九〇・〇	九〇・〇	九〇・二	九〇・三	九〇・四
九							以下ローエステン																							
47	38	29	43	33	40	41		16	37	34	33	44	24	39	17	44	37	42	27	8	32		34		35	21	31	20	30	18

(平均出席率 八九・二)

新 55 54 53 52

 γ

ラ

平熊青甲市名
谷森府川屋西

四二 四四四四

二七 三一 三二 二七 二八 三三

七三・〇 七〇・六 七〇・四 六八・八 九三・〇 七四・〇

以上

48 36 45 46